

2024 年度 第 428 回教育研究審議会議事要録

日時 2024 年 6 月 25 日（火）13：30～14：40
場所 本館 E-701 会議室
出席者 柳井学長、漆原副学長、上江洲副学長、内田副学長、後藤副学長、中本事務局長、
武井外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、中武国際環境工学部長、
西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、
寺田学生部長、狭間教務部長、廣渡基盤教育センター長、篠崎入試センター長、
浅羽情報総合センター長、井上環境技術研究所長、二宮図書館長

配布資料

- 1-1 欠員補充申請書（国際環境工学部）
- 1-2 欠員補充申請書（国際環境工学部）
- 1-3 欠員補充申請書（国際環境工学部）
- 1-4 欠員補充申請書（国際環境工学部）
- 2 特任研究員の選考について
- 3 2027 年度入試における入学定員及び募集人員の変更について（国際環境工学部）
- 4 国際環境工学研究科博士前期課程外国人学生等特別選抜におけるオンライン試験導入について
- 5 国際環境工学部のカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの変更について
- 6 北九州市立大学における教室天井の一部の落下について

第1号 教員の人事について

* 資料 1-1 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2025 年 3 月 31 日付で定年退職する朝見賢二教授の後任として、化学を基盤とした環境科学に関する分野（化学プロセスに関する分野）担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料 1-2 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2025 年 3 月 31 日付で定年退職する大矢仁史教授の後任として、化学を基盤とした環境科学に関する分野（環境プロセスに関する分野）担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料 1-3 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2025 年 4 月 1 日付で情報システム工学科に異動する加藤 尊秋教授の後任として、生物機能分野（生理学・生物化学）担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

* 資料 1-4 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2023 年 3 月 31 日付で離職した二渡 了教授の後任として、生物機能分野（生物機能科学）担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

第2号 特任研究員の選考について

* 資料2のとおり、特任研究員の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 2027年度入試における入学定員及び募集人員の変更について

* 資料3のとおり、2027年度入試における入学定員及び募集人員の変更について提案。

- 「（仮称）情報イノベーション学部」の新設に向けて、2024年4月23日開催の教育研究審議会で示した2027年度入試からの「各学部の入学定員及び募集人員」のうち、「決定次第、公表」としていた国際環境工学部の選抜区分別の募集人員について変更するもの。
- 総合型選抜の実施方法について具体的に決まっているか。
- 現時点で具体的な実施方法は決定していない。これから検討していく。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 大学院博士前期課程外国人学生等特別選抜におけるオンライン試験の導入について

* 資料4のとおり、大学院博士前期課程外国人学生等特別選抜におけるオンライン試験の導入について提案。

- 現在、国際環境工学研究科博士後期課程において実施しているオンライン試験について、一部コースにおける博士前期課程外国人学生等特別選抜にも導入することを提案するもの。オンライン試験実施の可否は、研究科委員会の事前審査を経て決定する。
- オンライン試験実施の可否の事前審査とは、オンライン試験を希望する個々の受験生について行うのか。
- オンライン試験を希望する学生ごとに審査を行い、研究科委員会の許可を得た上、試験を実施する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第5号 国際環境工学部のカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの変更について

* 資料5のとおり、国際環境工学部のカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの変更について提案。

- 2025年度学士課程のカリキュラム改編に伴い、国際環境工学部のカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの変更を行うもの。
- 生命工学科のカリキュラム・ポリシーでは「問題解決型学習」という文言が使用されている。一方、他学科のカリキュラム・ポリシーでは、「課題解決型学習（PBL）」という文言が使用されている。統一しなくてよいのか。
- 課題解決型学習（PBL）に統一する形で修正したい。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 北九州市立大学における教室天井の一部の落下について